

科目名	学校保健Ⅰ			担当教員	西田 倫子	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2PSH101
期待される学修成果	基礎教養 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし					
実務経験	養護教諭・教育委員会指導主事・学校管理職					
実務経験を生かした授業内容	学校現場や教育委員会での経験を生かし、子どもの心身の健康課題解決についての取組や、安全対策及び緊急対応で身につけておくべきスキルを習得できるよう指導する。また、子どもの健康を守り育てるための組織活動の在り方を指導する。					
到達目標及びテーマ	学校教育における身体活動の安全管理と健康の保持増進に意義を把握し、児童生徒の健やかな生徒を支える教育実践の基礎を身につける					
授業の概要	本授業は、学校保健の理念と制度を理解するとともに、体育科教員としての立場から運動実践場面における健康課題と安全管理の在り方を探求する。事故防止、けがの予防や対処の仕方について身につけるとともに、発達段階に応じた保健指導を構想する。また、子供が安心して学校生活を送ることができる環境を構築する力を養う。【デジタル技術 該当番号①、③、④、⑤】					

授業計画	
第1回	学校保健とは何か：学校保健の制度と歴史
第2回	保健主事の役割：学校保健安全計画と組織活動のあり方
第3回	日常の学校保健活動 健康観察・健康相談
第4回	保健室の機能と役割
第5回	学校環境衛生活動（ゲストスピーカー 永瀬文学学校薬剤師）
第6回	児童・生徒の健康診断
第7回	就学時の健康診断、職員の健康診断
第8回	学校安全対策の実際
第9回	緊急時の対応
第10回	保健教育の進め方
第11回	GW :保健指導指導案作成と教材研究
第12回	GW :保健指導教材研究
第13回	GW：保健指導リハーサル
第14回	保健指導実践①
第15回	保健指導実践②

事前学修	2時間	シラバスに記載した各回の授業内容について、事前に調べておくこと。 場合によっては、事前アンケートを課すこともある。
事後学修	2時間	配布資料をもとに講義をふりかえり、論点を整理・復習すること。 教員として子どもを取り巻く健康問題や子供の心身の健康と安全を守ために何をすべきかを整理する。
フィードバックの方法	授業での学びをショートレポートにして提出する、そのレポートについて授業の初めにコメントする。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		40%	ショートレポート
上記以外の試験・平常点評価		60%	授業に取り組む態度 保健指導
定期試験		0%	
補足事項	学校における児童・生徒の健康問題は、とても重要な課題となっている。それをふまえ、積極的に講義参加し、知識の定着及び適切な行動を検討すること。		

また、講義内では教員採用試験にもよく出題される学校保健安全法の内容も取り扱うため、正しく理解すること。

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	なし			

科目名	学校保健Ⅱ			担当教員	西田 倫子	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2PSH402
期待される学修成果	基礎教養 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション					
実務経験	養護教諭 指導主事 学校管理職					
実務経験を生かした授業内容	実務経験を踏まえ、学校保健を現場・行政・経営の視点から総合的に捉え、教員としての子供の安全と健康を支える実践的力量的の基礎を養う。					
到達目標及びテーマ	1. 高等学校保健科の内容と小中学校保健学習との接続関係を理論的に説明できる 2. 学習指導要領および教材分析に基づき、系統生を踏まえた保健授業を設計できる。 3. 模擬授業を通して授業実践力の基礎を身につける 4. 授業研究の視点から授業を分析し、改善方策を提案できる。 【デジタル技術利用 該当番号：①、③、④、⑤】					
授業の概要	高等学校保健科を基盤として保健学習の内容構造と発達段階に応じた指導の在り方を探求する。指導案作成及び研究授業を通して、理論と実践を往還しながら、保健科教育の専門性と授業改善の視点を育成する。					

授業計画	
第1回	オリエンテーション、本講義の計画説明（学校保健Ⅰの延長線上にある個別の問題を拡大・深化させる）、テーマと発表・分担決め、高等学校保健学習指導要領および総則
第2回	GW：学習指導案の作成① 教材研究
第3回	GW：学習指導案の作成②教材研究
第4回	GW：学習指導計画の作成③教材研究
第5回	①模擬授業「がんの原因と予防」の教育内容及び研究協議
第6回	②模擬授業「薬物乱用と健康」の教育内容及び研究協議
第7回	③模擬授業「精神疾患の特徴」の教育内容及び研究協議
第8回	④模擬授業「現代の感染症」の教育内容及び研究協議
第9回	⑤模擬授業「健康に関する意思決定・行動選択」の教育内容及び研究協議
第10回	⑥模擬授業「事故の現状と発生要因」の教育内容及び研究協議
第11回	⑦模擬授業「思春期と健康」の教育内容及び研究協議
第12回	⑧模擬授業「避妊法と人工妊娠中絶」の教育内容及び研究協議
第13回	⑨模擬授業「労働災害と健康」の教育内容及び研究協議
第14回	⑩模擬授業「食品衛生にかかわる活動」の教育内容及び研究協議
第15回	⑪模擬授業「さまざまな保健活動や社会的対策」の教育内容及び研究協議

事前学修	2時間	グループで担当する模擬授業づくり（教材研究、配布資料、学習指導案等）を行う。事前に他のグループが作成した指導案に目を通しておくこと。
事後学修	2時間	模擬授業を観て各自が授業評価を行う。それを踏まえて模擬授業研究会を開催し、授業について議論する。
フィードバックの方法	研究協議での学びをロイロノートで共有する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	30%	研究協議での学びのコメント
上記以外の試験・平常点評価	70%	授業及び研究協議での参加態度
定期試験	0%	なし

補足事項	本講義を履修するにあたり、「現代高等保健体育」（大修館書店）を必ず購入すること。 本講義は、主にグループ作業（教材研究、指導案作り、配布資料づくり等）を行う。 講義時間外に作業を行うことを理解した上で履修すること。 事前指導の参加及び模擬授業を実施していない学生には、単位認定は行わない。
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
現代高等保健体育	衛藤隆ら	大修館書店	978-4-469-66319-8	初回から使用するため必ず購入すること。
参考資料	文部科学省：高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「保健体育編 体育編」 家田重晴ら：保健科教育改定第4版，杏林書院 文部科学省：中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「保健体育編」，東山書房 池田延行ら：中学校保健体育，大日本図書			